

4 月 11 日、19 日 ソロモン諸島の地震

2014 年 4 月 11 日 16 時 07 分（日本時間、以下同じ）にソロモン諸島で Mw7.1 の地震が、また、11 日 16 時 07 分の地震とほぼ同じ場所で 19 日 22 時 27 分に Mw7.5 の地震が発生した。これらの地震は、共に発震機構（気象庁による CMT 解）が北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、沈み込むインド・オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界付近で発生したと考えられる。

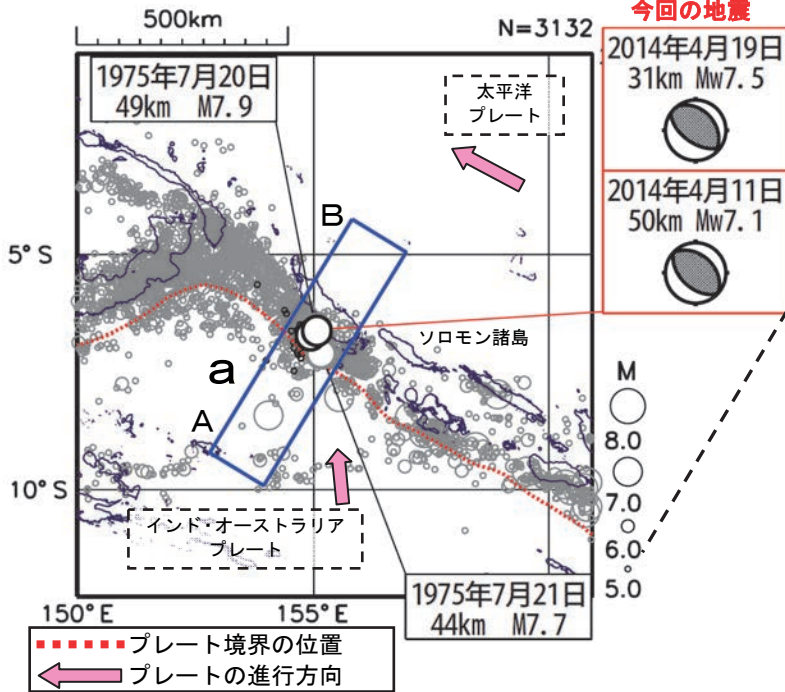
気象庁は 11 日 16 時 07 分の地震について、同日 16 時 38 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。また、19 日 22 時 27 分の地震について、同日 22 時 55 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「太平洋で津波発生の可能性がありますが。日本への津波の有無については現在調査中です。」）、同日 23 時 25 分に同情報（日本国内向け、「震源の近傍で津波発生可能性があります。この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

1963 年以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、M7.0 以上の地震が時々発生している。

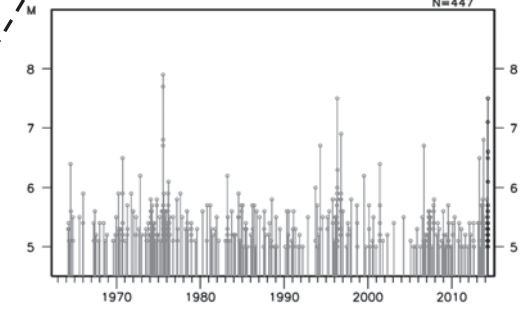
1900 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（右下震央分布図内）では、M7.0 以上の地震が頻繁に発生し、2000 年 11 月 16 日に M8.2、M7.8 の地震、11 月 18 日に M8.0 の地震が発生するなど、M8.0 前後の地震が連続して発生することがある。

震央分布図

(1963 年 1 月 1 日～2014 年 4 月 30 日、
深さ 0～300km、M≥5.0)
2014 年 4 月の地震を濃く表示

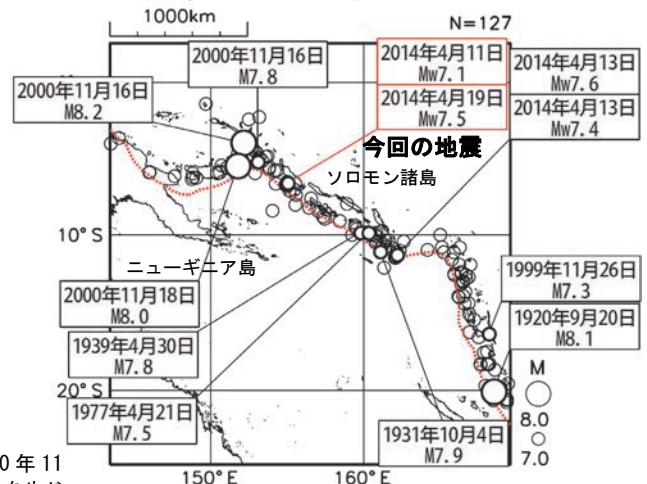


領域 b 内の M-T 図

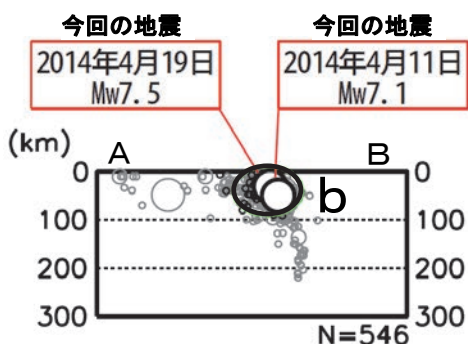


震央分布図

(1900 年 1 月 1 日～2014 年 4 月 30 日、
深さ 0～100km、M≥7.0)



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



右図中、今回の地震、4 月 13 日の Mw7.6、Mw7.4 の地震、2000 年 11 月 16 日の M7.8 の地震、M8.0 以上の地震と、10 人以上の被害を生じた地震に吹き出しを付けた。

※本資料中、発震機構と Mw は気象庁による。1900 年～1962 年の震源要素は国際地震センター (ISC) による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.